

■ 高エネルギー吸収型ポケット式落石防護網

ビーズリンガーネット工法

NETIS登録番号:QS-090008-VE★

◆概要

ビーズリンガーネット工法は、2100kJレベルの落石エネルギーを吸収可能な、高エネルギー吸収型ポケット式落石防護網で次の特徴を持つ。

◆特徴

①主ロープに緩衝機構となるビーズリング(緩衝リング)・KT装置(緩衝装置)を設置し、滑車構造で連続した吊ロープとのトリプル緩衝機構により、最大落石エネルギー2100kJまで対応

可能である。

②アンカーへの作用荷重にも緩衝機構が働くため、アンカーや地盤、ワイヤロープへの負荷が軽減出来る。

③支柱間隔を従来工法の4倍となる12mとし、落石の直撃の確率が軽減されると共に支柱高さを変化させる事で、のり面の凹凸に対応した施工が可能である。主要部材に汎用品を使用しているため、迅速なメンテナンスが可能である。



亜細亜防災協会

日本事務局

〒939-2701 富山県富山市婦中町西本郷436番32

TEL.076-495-7674 FAX.076-495-7675

URL. <https://asia-dpa.com>

E-mail. info@asia-dpa.com